合成繊維ロープ　耐薬品性

1.　目的

合成繊維は薬品その他に影響され強度低下する。

各種合成繊維の耐薬品性を比較。

2.　耐薬品性

	ナイロン	テトロン	ビニロン	ポリプロピレン	ポリエチレン
耐酸性	×	○	×	○	○
耐アルカリ性	○	×	○	○	○
耐溶剤	○	○	○	※	※

※ベンゼン、ガソリンで高温時膨潤

	ナイロン	テトロン	ビニロン	ポリプロピレン	ポリエチレン
アルコール	良	良	良	良	良
エーテル	〃	〃	〃	〃	〃
ベンゼン	〃	〃	〃	高温時膨潤	高温時膨潤
アセトン	〃	〃	〃	良	良
ガソリン	〃	〃	〃	高温時膨潤	高温時膨潤

出典　運輸省認定船員通信教育教科書（高等科）合繊ロープの概要　運輸省

3.　まとめ

ナイロン、ビニロンは酸、テトロンはアルカリに影響される。

東京製綱繊維ロープ株式会社
TOKYO SEIKO ROPE MFG.CO.,LTD.
URL：http://www.fiber-tokyorope.jp/

参考資料：合繊ロープの概要　運輸省　等
文書名：合成繊維ロープ耐薬品性　　制定日 2021/03/18